

## 9. 博士論文一覧（1997～2020 年度）

### 1997 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
陸 麗君	日本農村社会における協同関係の変容と展開 — 高度経済成長 気以降を中心に —	山本 武利 村田 光二 町村 敬志
邱 珮雯	1990 年代における東アジア地域及び台湾の放送事業の変容 — グローバル化／ローカル化の連動という視点から —	山本 武利 梶田 孝道 町村 敬志
金 廣烈	戦間期日本における定住朝鮮人の形成過程	糟谷 憲一 田中 宏 渡辺 尚志 浅見 靖仁
フフバートル	漢語の影響下におけるモンゴル語近代語彙の形成 — 中国領内 のモンゴル語定期刊行物発達史に沿って —	田中 克彦 糟谷 啓介 糟谷 憲一 中島 由美
奥野 克巳	災いの説明と災いへの対処 — ボルネオ島カリス社会における 精霊、毒薬、邪術 —	内堀 基光 長島 信弘 足羽 與志子
王 青	荻生徂徠における「道」と「人性」「人情」	安丸 良夫 木山 英雄 古茂田 宏 渡辺 尚志
諸葛 蔚東	戦後日本思想史における毛沢東認識	安丸 良夫 田中 宏 三谷 孝 加藤 哲郎

### 1997 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
木本 喜美子	家族・ジェンダー・企業社会 — ジェンダー・アプローチの模索 —	矢澤 修次郎 浜谷 正晴 渡辺 治
田中 ひかる	アナーキズム思想に見られる革命観とその背景 — 『フライハイ ト』紙を中心にして 1879-1886 年 —	加藤 哲郎 渡辺 治 平子 友長
サーレ・アー デル・アミン	エジプトの言語ナショナリズムと国語認識 — 言語多変種併用と 国民国家形成問題、日本の言文一致運動との比較において—	加藤 哲郎 糟谷 啓介 深澤 英隆
神田 秀雄	如来教の思想と信仰 — 教祖在世時代から幕末期における —	安丸 良夫 深澤 英隆 渡辺 尚志

内藤 正典	アッラーのヨーロッパ — 移民とイスラム復興 —	矢澤 修次郎 関 啓子 児玉谷 史朗
朱 浩東	戦後日本における「地域と教育」論の史的展開	藤岡 貞彦 三谷 孝 関 啓子
安藤 聡彦	都市のナチュラルリスト・ゲディス — <人間—環境>系のライフ ヒストリー分析試論 —	藤岡 貞彦 関 啓子 町村 敬志

1998 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
尹 良富	戦前のプロ野球と新聞：『読売新聞』の「巨人軍戦略」と関連して	山本 武利 高津 勝 村田 光二
趙 京華	周作人と日本文化	木山 英雄 落合 一泰 菊田 正信 田崎 宣義
李 喜馥	幕藩制社会と閻斎学：元禄・享保期仙台藩を素材として	安丸 良夫 糟谷 憲一 渡辺 尚志 森村 敏己
田原 史起	現代中国農村における権力と支配：新中国建国初期の土地改革と 基層政権（1949-1954）	三谷 孝 糟谷 憲一 坂元 ひろ子 渡辺 雅男
荒木田 岳	明治前期地方編制と町村概念の転換	田崎 宣義 渡辺 治 木村 元 渡辺 尚志
上條 敏子	ベギン運動の展開とベギンホフの形成	土肥 恒之 深澤 英隆 森村 敏己 阪西 紀子

1999 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
林 恵玉	日本統治下台湾の広告研究	山本 武利 松永 正義 坂元 ひろ子 安川 一
小関 隆志	労働組合研究集会活動の分析：労働の社会的意義を問う労働組合 活動	関 啓子 富沢 賢治 高田 一夫 藤田 和也

花淵 馨也	憑依という振舞い：コモロにおける霊の人格と主体性に関する考察	浜本 満 内堀 基光 足羽 與志子
趙 昕	島崎藤村論：『家』を中心に	秋谷 治 松岡 弘 瀧澤 正彦 中島 由美
金子 晃之	ロバート・オウエンの社会編成原理における隣人愛とコミュニティ	関 啓子 富沢 賢治 木本 喜美子
ヴィ・ティ・ミン・チ	変革期ベトナムの教育：その実践と歴史的展開	関 啓子 木村 元 田中 宏
元 智妍	「新官僚」の研究：内務省を中心に	吉田 裕 渡辺 治 田崎 宣義 林 大樹
韓 立新	マルクスの労働概念とエコロジー	嶋崎 隆 岩佐 茂 御代川 貴久夫 平子 友長
何 群雄	中国文法学の形成期についての研究：『馬氏文通』に至るまでの西洋人キリスト教宣教師の著作を中心に	折敷瀬 興 吉川 良和 中野 知律 糟谷 啓介
フレルバートル	現代モンゴル語の長母音発達に関する一考察	中島 由美 糟谷 憲一 久保 哲司
岡本 雅享	中国の少数民族教育と言語政策	田中 宏 関 啓子 久富 善之 坂元 ひろ子
関口 寛	水平社創立の文化史的研究	田崎 宣義 町村 敬志 渡辺 尚志 若尾 政希
宣 元錫	職場の知識形成と技術移転：「外国人研修制度」によるアジアへの技術移転の研究	依光 正哲 倉田 良樹 一條 和生 児玉谷 史朗
章 慧南	中国における国有企業の雇用システムの研究：労働力流動化との関連性において	依光 正哲 倉田 良樹 三谷 孝 渡辺 雅男

1999 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
片山 善博	《自己知》とは何か：「精神現象学」の方法と経験	嶋崎 隆 岩佐 茂 深澤 英隆
李 恩民	転換期における中日関係の研究：政府と民間、政府とビジネスという視点から	田中 宏 三谷 孝 田崎 宣義
尾関 周二	言語的コミュニケーションと労働の弁証法：現代社会と人間の理解のために	嶋崎 隆 岩佐 茂 平子 友長
朴 恩美	イギリス農村社会の危機と Thomas Hardy : Wessex 小説を中心として	糟谷 啓介 滝沢 正彦 中野 知律
芳井 研一	環日本海地域社会の変容と近代日本	吉田 裕 糟谷 憲一 加藤 哲郎
浜本 満	ケニア海岸地方の一地域における秩序をめぐる実践と語り	長島 信弘 落合 一泰 足羽 與志子

2000 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
王 紅艷	「満洲国」の劳工に関する史的研究：華北からの入満劳工を中心に	田中 宏 三谷 孝 糟谷 憲一 一條 和生
高 玲娜	労働争議に関する中国工会の立場と役割：改革開放期の外資企業を中心に	林 大樹 依光 正哲 濱谷 正晴 三谷 孝
市川 寛明	近世都市下層社会の形成と雇傭労働の展開	渡辺 尚志 田崎 宣義 町村 敬志 若尾 政希
田川 玄	年齢体系と儀礼：南部エチオピアのオロモ語系ボラナ人のガダ体系を巡る考察	浜本 満 長島 信弘 清水 昭俊 足羽 與志子
尹 明淑	日本の軍隊慰安所制度及び朝鮮人軍隊慰安婦形成に関する研究	糟谷 憲一 吉田 裕 坂元 ひろ子 中野 聡

文 孝淑	日本の社会教育・生涯学習と異文化・異民族間<共同交流学习> : 政令指定都市・川崎市における実践と地域創造に関する研究	関 啓子 中田 康彦 横田 雅弘 糟谷 憲一
永嶋 信二郎	W・H・ベヴァリッジの社会保障論の原点 : 1909年失業論の研究を通して	依光 正哲 西澤 保 倉田 良樹 林 大樹
マイリーサ	生涯学習と民衆の参加 : 内発的地域づくりにおける人間形成をめぐって	関 啓子 久富 善之 中田 康彦 渡辺 尚志
滝澤 秀雄	初期中世贖罪書の基本的性格	土肥 恒之 阪西 紀子 深澤 英隆 瀧澤 正彦
田中 正敬	近代朝鮮における塩需要と塩業政策	糟谷 憲一 三谷 孝 田崎 宣義 渡辺 尚志
谷川 建司	アメリカ合衆国による占領期対日映画政策の形成と遂行	山本 武利 安川 一 村田 光二 木本 喜美子
張 勇	健康増進計画における自主活動の位置づけ : 長野県須坂市・健康補導員制度の成果	久富 善之 関 啓子 内海 和雄 尾崎 正峰

2000年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
鄭 基龍	転換期における日本の高齢者対策に関する研究 : 高齢者雇用と公的年金を中心に	藤田 伍一 加藤 哲郎 倉田 良樹
洪 仁淑	第二次世界大戦直後の東アジアにおける大国の働きと朝鮮民族の対応 : 朝鮮半島と日本地域を中心に	糟谷 憲一 田中 宏 三谷 孝
ススイ・オン グ	大正初期の理想主義から昭和初期の社会改造論へ : 橋孝三郎の農本的社会改造論と昭和ファシズム	田崎 宣義 矢澤 修次郎 吉田 裕
田中 克彦	ソビエト・エトノス科学論 : その動機と展開	渡辺 雅男 平子 友長 糟谷 啓介
佐藤 公彦	義和団の起源とその運動 : 中国ナショナリズムの誕生	三谷 孝 糟谷 憲一 坂元 ひろ子

伊野 憲治	ビルマ農民大反乱（1930～1932年）：反乱下の農民像	児玉谷 史朗 内藤 正典 中野 聡
重久（岩井） 美佐紀	ドイモイ前後におけるベトナム紅河デルタ農村の変容：バックニン省チャンリエット村における農業生産合作社を中心に	児玉谷 史朗 中野 聡 浅見 靖仁

2001年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
鄭 松安	養生思想と教育的学校保健の成立	藤田 和也 久富 善之 木村 元 若尾 政希
景（加藤） 慧	魯迅小説の物語論的研究：【呐喊】から【故事新編】へ	坂元 ひろ子 瀧澤 正彦 中野 知津 吉川 良和
佐野 哲	労働需給調整制度の構造と規制緩和政策	依光 正哲 倉田 良樹 大橋 勇雄
江藤 光紀	詩画集「響き」にみるカンディンスキーの芸術理念	久保 哲司 喜多崎 親 中野 知律 中島 由美
堀江 孝司	女性の就労をめぐる政策と政治：フレキシビリゼーション・平等・再生産	加藤 哲郎 渡邊 治 木本 喜美子 高田 一夫
三ツ井 崇	植民地下朝鮮における言語支配の構造：朝鮮語規範化問題を中心に	糟谷 憲一 イ ヨンスク 糟谷 啓介 吉田 裕

2001年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
土屋 礼子	明治期小新聞の研究	村田 光二 田崎 宣義 山本 武利
木村 周市朗	ドイツ福祉国家思想史	藤田 伍一 渡辺 雅男 一條 和生

## 2002 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
シンジルト	民族の語りの文法：中国青海省河南モンゴル族自治区における日常生活・牧地紛争・教育運動に関する民族誌的研究	浜本 満 清水 昭俊 三谷 孝 坂元 ひろ子
田中 正隆	ヴォドゥン民俗祭祀における「モノ」をめぐる儀礼実践と「個」という布置：ベナン共和国アジャ Aja 社会の民族誌的研究	清水 昭俊 浜本 満 児玉谷 史 宮地 尚子
尹 慧瑛	北アイルランドのユニオニズムにおける自己表象：「包囲」された「ブリティッシュネス」	伊豫谷 登士翁 関 啓子 内藤 正典 中野 聡
楊 麗君	文革期における派閥分化と集団的暴力行為：公民権の配分と獲得競争	三谷 孝 坂元 ひろ子 渡辺 治 渡辺 雅男
黄 咏嵐	中国民営企業の労使関係と人事労務管理：民営科技企业を中心に	依光 正哲 倉田 良樹、 三谷 孝 福田 泰雄
エスタ・ウィリアム・ドゥングマロ	Integrated Water Resources Management in Developing Countries, A Case of Tanzania	浜本 満 御代川 貴久夫 児玉谷 史朗 清水 昭俊
名和 賢美	デーモクラティアーと公開原理：古代ギリシア文献におけるメソンの用例をもとに	平子 友長 古澤 ゆう子 加藤 哲郎 阪西 紀子
ズ・ライナ・ラザフィアリソン	Perspective and Reality of Integrated Conservation and Development Project. Experience from Andasibe Mantadia National Park, Madagascar	内藤 正典 御代川 貴久夫 児玉谷 史朗 中嶋 浩一

## 2002 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
佐々木 照央	ラヴローフのナロードニキ主義歴史哲学：虚無を超えて	土肥 恒之 嶋崎 隆 坂内 徳明
川成 洋	スペイン内戦を戦ったイギリス人義勇兵の研究：ケンブリッジの若き文士たちを中心にして	瀧澤 正彦 加藤 哲郎 井上 義夫

## 2003 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
福島 知己	シャルル・フーリエのユートピア：アイロニーとユーモアの視点から	古茂田 宏 山崎 耕一 加藤 哲郎 森村 敏己
伊原 亮司	トヨタの労働現場：ダイナミズムとコンテクスト	渡辺 雅男 木本 喜美子 林 大樹 福田 泰雄
マンダフ・アリウンサイハン	日ソ関係とモンゴル：満洲事変から日ソ中立条約締結までの時期を中心に	吉田 裕 加藤 哲郎 三谷 孝 土肥 恒之
高橋 暁生	フランス革命期地方都市の政治的選択とその背景：ルアン 1789年～1794年	土肥 恒之 森村 敏己 山崎 耕一 阪西 紀子
菊池 信輝	戦後日本財界と政治	林 大樹 吉田 裕 尾崎 正峰 渡辺 治
金 善英	介護保険制度の給付実態分析：居宅介護支援センターの調査をもとに	藤田 伍一 浜谷 正晴 高田 一夫 倉田 良樹
佐藤 昭治	自立論・模索するアイデンティティ：成熟世代の異文化体験による変革的主体形成	倉田 良樹 矢澤 修次郎 足羽 與志子 関 啓子
姜 英淑	日本版 401(k) プランの成立：「アメリカ型」から「日本型」へ	藤田 伍一 高田 一夫 林 大樹 中野 聡

## 2003 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
夏井 春喜	中国近代江南の地主制研究：租棧関係簿冊の分析	三谷 孝 糟谷 憲一 江夏 由樹
丹野 清人	産業組織の変容と外国人労働者	加藤 哲郎 梶田 孝道 町村 敬志



山田 高生	ドイツ社会政策史研究：ビスマルク失脚後の労働者参加政策	藤田 伍一 渡辺 雅男 高田 一夫
平賀 明彦	戦前日本農業政策史の研究 1920-1945	田崎 宣義 渡辺 治 森 武麿
田熊 文雄	近代ドイツの国制と市民：地域・コルポラツィオンと集権国家	平子 友長 土肥 恒之 藤田 幸一郎
三好 章	摩擦と合作 新四軍 1937～1941	三谷 孝 坂元 ひろ子 吉田 裕
脇野 博	近世林業技術の近代化に関する研究	渡辺 尚志 田崎 宣義 泉 英二

2004 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
藤田 明香	牧畜民サンブル社会における学校教育と「サンブルの教育」間の葛藤を越える模索	関 啓子 児玉谷 史朗 矢澤 修次郎 宮地 尚子
飯島 典子	近代「客家 (Hakka) 社会」の形成 —清代中期から民国初期における広東客家社会の発展過程—	三谷 孝 坂元 ひろ子 浅見 靖仁 江夏 由樹
神谷 純子	義務教育機関における異文化間言語教育の実践研究	関 啓子 伊豫谷 登士翁 落合 一泰 木村 元
李 岩梅	対応推論における状況要因の利用についての実証的研究—動機づけの働きに着目して	村田 光二 安川 一 稲葉 哲郎 濱谷 正晴
森永 貴子	イルクーツク商人とキャフタ国境貿易—1792-1830 年	土肥 恒之 阪西 紀子 三谷 孝 関 啓子
中島 醸	ニューディール期アメリカ国家像の再構成—ニューディール・リベラル派内の対抗と労働リベラル派の構想—	高田 一夫 中野 聡 貴堂 嘉之 渡辺 治
大竹 晴佳	厚生年金基金制度の形成と衰退—雇用慣行の史的展開に則して—	藤田 伍一 渡辺 雅男 林 大樹 倉田 良樹

吉澤 文寿	戦後日韓関係の展開（1945年から1965年まで）—日韓国交正常化交渉を中心にして—	糟谷 憲一 吉田 裕 加藤 哲郎 中野 聡
張 文明	現代中国における基層社会の構造変動と村民自治 —東北四ヶ村の村民自治機能を中心とする実証研究—	三谷 孝 坂元 ひろ子 加藤 哲郎 糟谷 憲一
高尾 隆	Keith Johnstone のインプロは創造性を育てるのか	関 啓子 村田 光二 藤田 和也 中田 康彦
尹 秀娟	中国の参加的労使関係—大連市の国有企業についての実証研究	高田 一夫 倉田 良樹 林 大樹 渡辺 雅男
伊藤 武	戦後日本の金融政策の政策科学的研究 —高度成長期以降の日本銀行金融政策の歴史的考察—	依光 正哲 渡辺 治 倉田 良樹 高田 一夫
森 宜人	近代ドイツにおける都市の電化プロセス—フランクフルト・アム・マイン 1886-1933年—	土肥 恒之 藤田 幸一郎 上野 卓郎 ジョナサン・ルイス
平林 あゆ子	低出生体重による脳性まひ児の言語発達：「指示詞」、「否定表現」と「自—他の分化」との関連から	湊 博昭 関 啓子 松岡 弘 石黒 圭
金 美花	中国東北延辺地区の農村社会と朝鮮人の教育 —吉林省延吉県楊城村の事例を中心として（1930-1949）—	三谷 孝 糟谷 憲一 坂元 ひろ子 木村 元
小林 玲子	「韓国併合」前後の間島問題—「間島協約（1909）」の適用をめぐって—	糟谷 憲一 三谷 孝 坂元 ひろ子 吉田 裕

2004年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
田島 慶吾	アダム・スミスの制度主義経済学	嶋崎 隆 平子 友長 星野 彰男
長沼 秀世	アメリカ社会運動史研究—産業別組織会議（CIO）の諸問題	中野 聡 高田 一夫 貴堂 嘉之

亀山 純生	中世民衆思想と法然浄土教 —歴史に埋め込まれた親鸞像—	平子 友長 深澤 英隆 若尾 政希
山本 真	中国国民政府統治区における農村建設の研究 —郷村建設運動及び国民政府の土地政策を中心に—	三谷 孝 糟谷 憲一 江夏 由樹
水本 正晴	心的事実と社会的事実の形而上学 —クオリアと道德の相对主義的实在論の試み—	平子 友長 岩佐 茂 嶋崎 隆
菊谷 和宏	トクヴィルとデュルケーム — 社会学的人間観／社会観の歴史的形成と生の意味喪失 —	矢澤 修次郎 平子 友長 深澤 英隆
澤江 史子	現代トルコにおける民主政治とイスラーム政党—ムスリム社会の政教関係をめぐる—考察—	内藤 正典 児玉谷 史朗 ジョナサン・ルイス

2005 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
村田 憲郎	フッサールの時間意識の現象学——単線的時間経過からの脱却	平子 友長 矢澤 修次郎 岩佐 茂 嶋崎 隆
杜 念慈	体験学習活動による生涯学習の基盤形成—生徒の意識変容のプロセス—	藤田 和也 中田 康彦 林 大樹
河村 雅美	タイにおける開発言説——「開発の時代（1958-1973 年）」を中心として——	浅見 靖仁 中野 聡 児玉谷 史朗 町村 敬志
スニパ・デヴ	Rabindranath Tagore and Visva-Bharati; Position of Visva-Bharati in Modern Educational Movement in Twentieth Century	足羽 與志子 谷口 晋吉 臼田 雅之 関 啓子
大島 一	ハンガリー語の動詞接頭辞及びアスペクトに関する研究 —日本語アスペクトとの対照分析—	中島 由美 久保 哲司 糟谷 啓介 井川 ちとせ
島田 顕	ソ連・コミンテルンとスペイン内戦—モスクワを中心にしたソ連とコミンテルンのスペイン内戦介入政策の全体像	加藤 哲郎 上野 卓郎 土肥 恒之 吉田 裕
森 周子	戦後ドイツ公的年金保険の制度枠組の考察	藤田 伍一 倉田 良樹 高津 勝 高田 一夫

黄 英蓮	「満洲」における近代的労務管理体制の萌芽—昭和製鋼所の労務管理の研究—	依光 正哲 倉田 良樹 林 大樹 三谷 孝
宮下 さおり	戦後日本における男性単独稼得規範の普及に関する一考察	木本 喜美子 林 大樹 佐藤 文香 渡辺 雅男
山室 信高	魔法の山の上り下り——トーマス・マンの『魔の山』とデモクラシーの精神史によせて——	久保 哲司 尾方 一郎 中野 知律 岩佐 茂
山口 公一	植民地期朝鮮における神社政策と朝鮮社会	糟谷 憲一 吉田 裕 深澤 英隆 若尾 政希
吉野 浩司	P・A・ソローキンの統合主義社会学——世俗的価値と宗教的価値を取り結ぶもの——	矢澤 修次郎 町村 敬志 深澤 英隆 坂内 徳明
愼 蒼宇	近代朝鮮における警察と民衆（1894-1919）	糟谷 憲一 吉田 裕 渡辺 尚志 古茂田 宏
小林 麻衣子	スコットランド国王ジェームズ6世の政治思想 1566-1603 —ルネサンス期における理想の君主像—	森村 敏己 平子 友長 山崎 耕一 ジョナサン・ルイス
飯笹 佐代子	シティズンシップのポリティクス—多文化国家オーストラリアにおける包摂と排除の構造—	伊豫谷 登士翁 関 啓子 宮地 尚子 小井土 彰宏
金野 純	現代中国の社会変容と集合行為：上海の労働現場と文化大革命 1949-69年	三谷 孝 坂元 ひろ子 加藤 哲郎 渡辺 雅男
林 幸司	中国内陸地域における金融業の史的展開—重慶銀行業に見る近代と社会主義：1915～1953—	三谷 孝 坂元 ひろ子 浅見 靖仁 城山 智子
洪 志瑗	韓国における労働力移動の展開とベトナム戦争—民間企業の軍事参加と人の移動を中心に—	内藤 正典 矢澤 修次郎、 糟谷 憲一 伊豫谷 登士翁

許 寿童	中国東北部における朝鮮人教育の研究 1906～1920— 間島における朝鮮人中等教育と日中の政策を中心に—	加藤 哲郎、 糟谷 憲一、 三谷 孝、 木村 元
柳川 純一	政府・企業の関係と業界団体の役割—1990年代の日本の石油産業における規制緩和を事例として—	倉田 良樹 依光 正哲 一條 和生 福田 泰雄
佐々木 貴雄	老人保健制度の新展開 —予防機能を中心にして—	藤田 伍一 高田 一夫 藤田 和也 林 大樹
山本 麻由美	スウェーデンの公的年金制度改革の特質と課題	藤田 伍一 林 大樹 高田 一夫 渡辺 雅男
津崎 克彦	現代日本における情報サービス産業の IT 技術者～雇用関係・仕事・技能形成～	倉田 良樹 依光 正哲 一條 和生 福田 泰雄
白瀬 由美香	イギリス NHS における保健と医療の関係—1960年代までのバーミンガム市の事例をもとに—	藤田 伍一 倉田 良樹 高田 一夫 内海 和雄
フランチェスコ・ヴィトゥッチ	Producer-Consumer Relations in Postmodern Society	ジョナサン・ルイス 町村 敬志 稲葉 哲郎 大杉 高司

2005 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
安倍（山中） 冴子	オーストラリアにおける障害生徒のトランジション～ニューサウスウェールズ州の学校役割を中心に	関 啓子 藤田 和也 茂木 俊彦
水野 由美子	「部族」の創出—合衆国南西部における先住社会の再編過程—	中野 聡 貴堂 嘉之 関 啓子
下里 俊行	論戦するロシア知識人—1860年代の論壇状況とトカチョーフの思想形成—	土肥 恒之 森村 敏己 坂内 徳明
藤岡 寛己	イタリア・ファシズム前夜の労働運動と政治運動—グラムシ・ダンヌンツィオ・ムッソリーニ—	矢澤 修次郎 加藤 哲郎 平子 友長
松村 健吾	初期ヘーゲル論考	嶋崎 隆 岩佐 茂 平子 友長

井川 充雄	戦後新興紙とGHQ —新聞用紙をめぐる攻防—	矢澤 修次郎 加藤 哲郎 山本 武利
高木 朋代	高齢者雇用と人的資源管理システム—同一企業内における雇用継続、移動による雇用継続—	林 大樹 一條 和生 守島 基博
鳥山 淳	米国占領下の沖縄における基地社会の形成と政治運動の展開： 1945～56年—引き裂かれる「自治」と「復興」—	加藤 哲郎 吉田 裕 伊豫谷 登士翁
前田 泰樹	心的概念の論理文法——医療実践の社会学的記述へ向けて	安川 一 平子 友長 糟谷 啓介
内海 和雄	イギリスのスポーツ・フォー・オール—福祉国家のスポーツ政策—	高津 勝 渡辺 雅男 尾崎 正峰
則竹 雄一	戦国大名領国の権力構造	渡辺 尚志 若尾 政希 池 享

2006年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
クリスティン・イングバルスドッティル	戦後日本における国際認識—青年国際交流事業を事例にして—	関 啓子 伊豫谷 登士翁 吉田 裕 小井土 彰宏
渥美 一弥	「情報」の経路としてのネイション—カナダ西岸先住民サーニツチにおける民族誌的「情報」と「現実」—	岡崎 彰 大杉 高司 落合 一泰 貴堂 嘉之
岩崎 周一	近世ハプスブルク君主国における諸身分と国家形成—下オーストリアの事例を中心に—	土肥 恒之 阪西 紀子 森村 敏己 平子 友長
及川 昌典	自己制御における意識・非意識の役割—非意識的過程による自己制御の実証的検討—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 藤田 和也
曾 貧	日本における「公害・環境教育」の成立 —教育実践／運動／理論の分析を通して—	木村 元 関 啓子 久富 善之 御代川 貴久夫
野村 正	17世紀初頭（1600-25）イギリス東インド会社のアジア進出	阪西 紀子 土肥 恒之 加藤 哲郎 谷口 晋吉

許 春花	「満洲事変」以前の間島における朝鮮人の国籍問題の展開	糟谷 憲一 吉田 裕 坂元 ひろ子 田崎 宣義
------	----------------------------	----------------------------------

2006 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
戸田 清	環境学と平和学の関係についての一考察	矢澤 修次郎 加藤 哲郎 平子 友長
坂本 雅子	財閥と帝国主義—三井物産と中国	吉田 裕 森 武麿 渡辺 治
村上 文司	近代ドイツ社会調査史研究—経験的社会学の生成と脈動—	濱谷 正晴 渡辺 雅男 町村 敬志
南川 文里	アメリカの人種エスニック編成における日系エスニシティ—エスニシティ、人種、ナショナリズムの相互関係をめぐる歴史社会学的研究—	梶田 孝道 町村 敬志 貴堂 嘉之
倉田 良樹	雇用関係の社会理論	依光 正哲 林 大樹 梶田 孝道
石井 香江	電話交換手／電信技手>の歴史社会学 — 近代日独の情報通信技術とジェンダー	木本 喜美子 森村 敏己 上野 卓郎
太田 美幸	成人教育と社会変革—スウェーデン型生涯学習社会の形成過程—	関 啓子 加藤 哲郎 中田 康彦
柴田 隆行	ローレンツ・フォン・シュタインの思想形成過程—前期シュタインの法学・社会学・国家学—	平子 友長 嶋崎 隆 岩佐 茂

2007 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
晏 妮	戦時下の日中映画交渉—その史的展開をめぐって	坂元 ひろ子 松永 正義 三谷 孝 吉田 裕
李 承駿	ミシェル・フーコーの統治合理性批判—司牧、国家理性、自由主義の分析から—	平子 友長 古茂田 宏 森村 敏己 中野 知律

見原 礼子	公教育における宗教の多様性と対話—オランダとベルギーのイスラーム教育をめぐる比較研究—	関 啓子 内藤 正典 中田 康彦 伊豫谷 登士翁
李 海燕	中国朝鮮族の形成に関する歴史的研究—中華人民共和国建国期を中心に（1945年8月～1955年末）—	三谷 孝 糟谷 憲一 加藤 哲郎 中野 聡
小川 和也	近世日本の国家思想と「牧民之書」	若尾 政希 渡辺 尚志 池 享 田崎 宣義
福士 由紀	近代上海における公衆衛生事業の展開—伝染病対策を中心に—	三谷 孝 糟谷 憲一 田崎 宣義 上野 卓郎
五十嵐 素子	教育諸概念の実践の論理 — 教示、学習、知識、能力の社会的組織化 —	久富 善之 木村 元 藤田 和也
小関 悠一郎	藩政改革の展開と「改革主体」の形成	若尾 政希 渡辺 尚志 池 享 田崎 宣義
源氏田 憲一	ソーシャル・サポート過程における「自己」の働き —ソシオメーター理論の観点から—	村田 光二 安川 一 稲葉 哲郎 濱谷 正晴
杉谷陽子	電子メディアによる情報伝達の研究 —コミュニケーションにおける非言語的手がかりの役割—	稲葉 哲郎 村田 光二 安川 一 ジョナサン ルイス
戴 文捷	近世日本思想における儒学・神道・兵学の関係	若尾 政希 渡辺 尚志 田崎 宣義 古茂田 宏
水野 進	定時制高校の授業実践の特質に関する基礎的研究 — B. パーンスティンの教育理論を手がかりに —	久富 善之 木村 元 町村 敬志 中田 康彦
山口 裕子	インドネシア・ブトン社会における歴史語りの社会人類学的研究	大杉 高司 岡崎 彰 中野 聡 石井 美保
山本 公德	天皇制国家における国家構想の歴史的展開	渡辺 治 吉田 裕 加藤 哲郎 高津 勝



杉本 隆司	フェティシズムと近代フランス宗教思想に関する歴史的考察 — ド・ブロス、コンスタン、コント—	森村 敏己 平子 友長 深澤 英隆 山崎 耕一
-------	--	----------------------------------

2007 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
小関 隆	プリムローズ・リーグの時代—世紀転換期イギリスの保守主義—	森村 敏己 土肥 恒之 貴堂 嘉之
佐藤 宏之	近世大名家における権力編成と「御家」意識	若尾 政希 渡辺 尚志 田崎 宣義
山崎 耕一	啓蒙運動とフランス革命 — 革命家バレールの誕生	森村 敏己 古茂田 宏 小関 武史
味岡 徹	中国国民党訓政下の政治改革	三谷 孝 糟谷 憲一 加藤 哲郎

2008 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
マルチェフ ミレン	PHRASAL ANALYSIS OF UNTAGGED CORPORA: ONLINE CONVERSATION AND WRITTEN LANGUAGE	中島 由美 森村 敏己 ジョナサン・ルイス 久保 哲司
中村 寛	Community in Crisis: Language and Action among African-American Muslims in Harlem	落合 一泰 足羽 與志子 岡崎 彰 貴堂 嘉之
福澤 徹三	一九世紀の豪農・名望家と地域社会	渡辺 尚志 若尾 政希 田崎 宣義 森 武麿
小椋 宗一郎	妊娠をめぐる葛藤 ——ドイツにおける妊娠中絶に関する法、社会実践と生命環境倫理	嶋崎 隆 岩佐 茂 古茂田 宏 佐藤 文香
山口 響	イギリスにおける刑事司法・犯罪者処遇の政治学: 1938-1973	加藤 哲郎 渡辺 治 渡辺 雅男 猪飼 周平
奥村 育栄	マレーシアにおけるインド人労働者家族の教育問題 —秩序の維持に果たすイメージの役割	浅見 靖仁 木村 元 関 啓子 中田 康彦

鈴木 江理子	日本で働く男性長期非正規滞在者	倉田 良樹 小井土 彰宏 伊藤 るり 猪飼 周平
金 成愷	朝鮮高宗の在位前期における統治に関する研究 (1864~1876)	糟谷 憲一 三谷 孝 坂元 ひろ子 加藤 哲郎
陳 激	日中民間漁業協定の歴史的意義	吉田 裕 渡辺 治 三谷 孝 高津 勝
小酒井 大悟	近世の村落・地域社会における土豪の存在形態	渡辺 尚志 若尾 政希 池 享 田崎 宣義
田仲 正江	越境の以前と今をつなげるライフストーリーの構築 — ニューカマーの子どもの回復と年少者日本語教育の可能性 —	久富 善之 関 啓子 中田 康彦 小井土 彰宏
原 正人	近代中国知識人に関する一考察—研究系の思想と行動、1912~1929—	坂元 ひろ子 三谷 孝 洪 郁如 若尾 政希
岩崎 明子	「ダワ DAWA (くすり)」の治療的・政治的使用に関する民族誌的研究 —東アフリカ・タンザニア海岸地帯を中心に—	岡崎 彰 大杉 高司 児玉谷 史朗 多田 治
酒井 裕美	開港期朝鮮における外交体制の形成—統理交渉通商事務衙門とその対清外交を中心に—	糟谷 憲一 三谷 孝 中野 聡 加藤 哲郎
馮 雷	20 世紀における空間概念の変異とその意義——人間学的哲学の視点から——	岩佐 茂 嶋崎 隆 平子 友長 三谷 孝
郡司 英美	「日系ブラジル人」の子どもを取り巻く「実践の星座」の生成	久富 善之 関 啓子 木村 元 宮地 尚子
田中 佳	アンシャン・レジームにおける美術政策と鑑賞者 —王室建造物局総監ダンジヴィレとルーヴル美術館構想 (1747-1793) —	森村 敏己 山崎 耕一 土肥 恒之 中野 知律

権 慈玉	韓国の農村開発とジェンダー（1960年代～1970年代）—国家、女性運動、農村女性の関わりをめぐる考察—	児玉谷 史朗 浅見 靖仁 糟谷 憲一 町村 敬志
佐川 佳之	民間の不登校支援グループに関する社会学的分析 — フリースクール運動を事例に —	久富 善之 関 啓子 木村 元 安川 一
佐藤 章	ある「ココア共和国」の近代 ——コートディヴォワールにおける統制的結社と統合的革命——	伊豫谷 登士翁 児玉谷 史朗 内藤 正典 石井 美保
戸高 七菜	自傷行為の社会学的分析 ——嗜癖性とコミュニケーション資源という二つの側面に着目して——	久富 善之 中田 康彦 木村 元 安川 一
マーク ウィンチェスター	近現代アイヌ思想史研究—佐々木昌雄の叙述を中心に	伊豫谷 登士翁 田崎 宣義 落合 一泰 多田 治

#### 2008年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
筒井 淳也	親密性の社会学：縮小する家族のゆくえ	平子 友長 町村 敬志 安川 一
田中 比呂志	近代中国政治統合の研究—立憲・地方自治・地域エリート—	三谷 孝 糟谷 憲一 坂元 ひろ子

#### 2009年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
本田 伊克	1950, 60年代の民間教育研究運動の成果と課題に関する学校知識論的考察—数学教育協議会の事例に即して—	木村 元 中田 康彦 尾崎 正峰 町村 敬志
森脇 孝広	1950年代日本における漁村社会と漁業秩序の変容	吉田 裕 渡邊 治 田崎 宣義 木村 元
橘 千早	敦煌変文韻文考	洪 郁如 坂元 ひろ子 中島 由美 笹倉 一広

青木 深	オトは流れてヒトは往く—戦後日本の米軍基地と音楽 1945-58—	落合 一泰 大杉 高司 多田 治 吉田 裕
崔 梅花	中国の国家体制改革とメディア	渡辺 治 加藤 哲郎 洪 郁如 安川 一
ウチラルト	中国の近代化政策と気功の変遷	足羽 與志子 三谷 孝 石井 美保 坂 なつこ
山岡 健次郎	難民との友情—冷戦体制が作り出した難民保護レジーム—	伊豫谷 登士翁 加藤 哲郎 足羽 與志子 小井土 彰宏
カムポアモール ゴンザール ロ II	Failures and Legacies of Japanese Propaganda in the Soryokusen War of Ideas	中野 聡 貴堂 嘉之 ジョナサン・ルイス 稲葉 哲郎
中村 哲也	近代日本の中高等教育と学生野球の自治	上野 卓郎 吉田 裕 坂上 康博 木村 元
須藤 孝也	キルケゴールと「キリスト教界」	深澤 英隆 平子 友長 嶋崎 隆 阪西 紀子
御園 敬介	ジャンセニズムと反ジャンセニズム —近世フランスにおける宗教と政治—	森村 敏己 古茂田 宏 深澤 英隆 山崎 耕一
高山 智樹	希望への手がかり—レイモンド・ウィリアムズ of 思想と経験—	渡辺 雅男 加藤 哲郎 井川 ちとせ 河野 真太郎
大高 俊一郎	水平社未組織地域の部落差別撤廃運動 —神奈川県青和会を事例として—	田崎 宣義 渡辺 治 渡辺 尚志 若尾 政希
明石 英人	マルクスにおけるイデオロギーとヘゲモニー	嶋崎 隆 岩佐 茂 渡辺 雅男 平子 友長

賈 義猛	中国の対外経済政策決定過程に関する研究 —GATT 復帰・WTO 加盟交渉を事例として—	佐藤 仁史 加藤 哲郎 高田 一夫 中野 聡
今井 就稔	日中戦争期上海資本家の研究——経済構造の変容と対日関係の模索——	佐藤 仁史 城山 智子 坂元 ひろ子 糟谷 憲一
斐 始美	1920年代における在日朝鮮人留学生に関する研究 —留学生・朝鮮総督府・「支援」団体—	糟谷 憲一 田崎 義義 吉田 裕 木村 元
佐藤 美弥	都市社会における文化活動の研究 —両大戦間期の創宇社建築会を中心に—	田崎 宣義 町村 敬志 土肥 恒之 吉田 裕
中村 只吾	日本近世漁村秩序の特質と変容	渡辺 尚志 若尾 政希 田崎 宣義 池 享
南 修平	第2次世界大戦後のニューヨーク建設労働者に関する労働民衆史的考察 —生活世界から捉えた絆と境界	貴堂 嘉之 中野 聡 土肥 恒之 西野 史子
鄭 栄桓	「解放」後在日朝鮮人史研究序説（1945-1950年）	加藤 哲郎 糟谷 憲一 吉田 裕 木村 元
宮本 敬子	ドイツ後期照明思想における「理性の公共的使用」について	平子 友長 岩佐 茂 嶋崎 隆 坂 なつこ
佐々木 綾子	米国における「人身取引」問題—「実態」をめぐる語りの変遷—	宮地 尚子 浅見 靖仁 伊豫谷 登士翁 貴堂 嘉之
チェン チュア・カール イアン ウイ	GAIJIN: CULTURAL REPRESENTATIONS THROUGH MANGA, 1930's - 1950's (日本の漫画における外国人の描写、1930年代~1950年代)	中野 聡 貴堂 嘉之 坂元 ひろ子 ジョナサン ルイス

## 2009 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
石井 健	17 世紀イングランドの年季奉公人—出自の社会経済史研究—	土肥 恒之 西澤 保 中野 聡
高橋 章則	江戸の転勤族—代官所手代の世界—	若尾 政希 渡辺 尚志 鈴木 俊幸
大井 由紀	越境と境界線の社会学 —分析的境界領域としての 19 世紀末在米中国人—	伊豫谷 登士翁 関 啓子 貴堂 嘉之
荒又 美陽	神話と浄化—マレ地区保存にみるパリの景観形成	内藤 正典 町村 敬志 森村 敏己
青木 恭子	帝政ロシアの移住・入植政策と移住農民—19 世紀後半から 20 世紀初頭—	土肥 恒之 渡辺 尚志 佐藤 仁史
鵜飼 健史	人民主権論の生成—ジョン・ロックによる近代社会の理論的構築	加藤 哲郎 岩佐 茂 平子 友長
黒沢 惟昭	現代に生きるグラムシ—市民的ヘゲモニーの思想と現実—	加藤 哲郎 関 啓子 平子 友長
白井 聡	レーニンの政治思想——比較思想の試み	加藤 哲郎 岩佐 茂 平子 友長
小林 聡明	韓国通信検閲体制の形成	町村 敬志 加藤 哲郎 中野 聡

## 2010 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
前田 建一郎	ニュージーランド、チャタム諸島における民族の生成 —原住民土地法廷と、ワイタングィ審判所をめぐる先住民モリオリとンガティ・ムトゥンガ族の紛争を手がかりに—	大杉 高司 春日 直樹 児玉谷 史朗 岡崎 彰
李 全鵬	中国の環境教育に関する研究 —緑色学校の分析および日本との比較研究を通して—	関 啓子 御代川 貴久夫 木村 元 岩佐 茂
イヴァノヴァ ツヴェトミラ フリストヴァ	E-Learning Aimed at New Hires in Japanese Companies	ジョナサン ルイス 関 啓子 倉田 良樹 西野 史子

神代 健彦	日本の青年教育（1920-40s）—軍隊を起源とする人間形成方式の考察—	木村 元 吉田 裕 町村 敬志 中田 康彦
瀬畑 源	象徴天皇制の形成過程—宮内庁とマスメディアの関係を中心に—	吉田 裕 坂上 康博 中野 聡 稲葉 哲郎
二宮 元	イギリスのニューライト—新自由主義と新保守主義—	田中 拓道 吉田 裕 渡辺 雅男 ジョナサン ルイス
田邊（菘輪） 明子	近代日本における「家」制度の成立とその変容	田崎 宣義 吉田 裕 渡辺 尚志 若尾 政希
木下 江美	教師の生活誌と近代教育—東ドイツ地域における転換期のライフヒストリー—	関 啓子 木村 元 小林 多寿子 嶋崎 隆
李 里花	ハワイ・コリア系移民のアイデンティティに関する歴史社会学的研究（1903 - 1945） —トランスナショナル・アイデンティティの構築—	中野 聡 貴堂 嘉之 糟谷 憲一 伊豫谷 登士翁
阿部 里加	ハンナ・アーレントにおける私的なものの再解釈—否定性に立脚する自己の持続と世界疎外—	平子 友長 久保 哲司 田中 拓道 大河内 泰樹
小川 勝	戦後期の日本における消費財デザインのモダニズム研究 ——ポストモダンとの関係に注目して——	岩佐 茂 久保 哲司 嶋崎 隆 安川 一
熊坂 元大	自然の探究から自己の探究へ： 環境倫理学の役割とリベラルな環境保護	嶋崎 隆 平子 友長 大河内 泰樹 関 啓子
杉 岳志	近世日本における天変の文化史	若尾 政希 渡辺 尚志 田崎 宣義 坂上 康博
高林 久美子	共同的女性と作動的女性に対する偏見の検討 —両立型女性が示す偏見に注目して—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 佐藤 文香

石橋 悠人	グリニッジ天文台と英国近代—経度の測定から標準時の発信へ—	森村 敏己 秋山 晋吾 山崎 耕一 大坪 俊通
佐々木 隆治	マルクス物象化論の核心 —素材の思想家としてのマルクス—	平子 友長 大河内 泰樹 嶋崎 隆 坂 なつこ
ジョハンナ・ズルエタ	A Place of Intersecting Movements: A Look at “Return” Migration and “Home” in the Context of the “Occupation” of Okinawa	伊豫谷 登士翁 伊藤 るり マイク モラスキー 中野 聡

#### 2010 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
高木 彩	社会規範はどのように迷惑行為に影響を及ぼすのか —記述的規範と命令的規範の相違と注目からのアプローチ—	村田 光二 稲葉 哲郎 堂免 隆浩
深田 淳太郎	パプアニューギニア、トーライ社会における貝貨の使い方の人類学	大杉 高司 春日 直樹 安川 一
小野沢 あかね	近代日本社会と公娼制度—民衆史と国際関係の視点から—	吉田 裕 木本 喜美子 田崎 宣義

#### 2011 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
鈴木 周太郎	アメリカ合衆国建国期の女子教育 —「共和国の母」イデオロギーと「女性の権利」論をめぐって—	中野 聡 貴堂 嘉之 秋山 晋吾 木村 元
齋藤 俊博	抗戦前中国におけるジャーナリズムの研究 —新聞論調分析から見る政治意識の変遷と世論—	佐藤 仁史 坂元 ひろ子 糟谷 憲一 洪 郁如
樋口 収	解釈レベルが楽観的な予測に及ぼす影響	村田 光二 稲葉 哲郎 大坪 俊通 竹内 幹
朴 敬玉	近代中国東北地域における稲作農業の展開と朝鮮人移民—1920～1930年代を中心に—	佐藤 仁史 糟谷 憲一 吉田 裕 江夏 由樹



綱川 歩美	日本近世における「閻斎学」の受容と展開	若尾 政希 渡辺 尚志 池 享 糟谷 憲一
寺本 敬子	1867年・1878年パリ万国博覧会における「日本」 — 初期日仏交流史における「日本」イメージの形成 —	森村 敏己 山崎 耕一 Dominique KALIFA Brigitte KOYAMA- RICHARD
岩崎 茜	アルド・レオポルドの土地倫理 — 知的過程と感情的過程の融合としての自然保護思想—	嶋崎 隆 関 啓子 平子 友長 大河内 泰樹

2011年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
高野 麻子	移動する身体の管理と指紋法 — 満洲国における労働者管理から戦後日本へ —	伊豫谷 登士翁 町村 敬志 吉田 裕
高橋 典史	近現代ハワイにおける日系宗教の展開と故国『日本』	深澤 英隆 貴堂 嘉之 藤井 健志
正本 忍	18世紀前半期（1720～1750年）のオート＝ノルマンディー地方のマレショーセ — フランス絶対王政の統治システムにおけるマレショーセ改革（1720年）の意義—	森村 敏己 山崎 耕一 秋山 晋吾
浜田 明範	薬剤と健康保険の人類学：ガーナ南部の農村地帯における生物医療的な布置についての民族誌	大杉 高司 春日 直樹 岡崎 彰
丸山 真央	「平成の大合併」をめぐる地方政治の社会学的研究 — 「国家のリスケーリング」論によるアプローチ—	町村 敬志 小井土 彰宏 尾崎 正峰
石田 千晃	ICTの利用にみるオルタナティブな<学び>の資源とネットワーク — 草の根電子ネットワーク活動の社会的機能—	関 啓子 ジョナサン・ルイス 中田 康彦
砂田 恵理加	アリス・ベーコンの「日本」と世紀転換期のアメリカ社会	中野 聡 貴堂 嘉之 高橋 裕子
福山 圭介	アルチュセール思想の理論的構造と社会的生成	平子 友長 鶴飼 哲 大河内 泰樹

## 2012 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
赤石 憲昭	ヘーゲルの判断論とその人間論的解釈 -ヘーゲルの「真理の学問的認識」に関する一研究-	平子 友長 大河内 泰樹 嶋崎 隆 森村 敏己
古川 優貴	うねる、とけあう -ケニア、初等聾学校の子供の体の動きを事例とした“共在”をめぐる人類学的研究-	岡崎 彰 大杉 高司 安川 一 児玉谷 史朗
白井(南波) 亜希子	メシアの救出 -ヴァルター・ベンヤミンのメシアニズムをめぐる研究への一寄与-	平子 友長 久保 哲司 大河内 泰樹 中野 知律
松田 圭介	基地と民衆の近現代史 -法制度と民衆運動-	吉田 裕 中野 聡 中北 浩爾 岡崎 彰
湯川 やよい	アカデミック・ハラスメントの社会学的研究 -学生の問題経験と「領域交差」実践-	宮地 尚子 関 啓子 小林 多寿子 山田 哲也
小野 百合子	戦後日本社会における「沖縄問題」の変遷	吉田 裕 多田 治 田中 拓道 マイク モラスキー
設楽 澄子	ベトナムにおける農村の市場経済化と合作社-農産物の生産・流通における個人的ネットワークの役割 -	浅見 靖仁 児玉谷 史朗 中野 聡 佐藤 仁史
菊池 美名子	自傷行為とトラウマ	宮地 尚子 多田 治 安川 一 中野 知律
武井 寛	変容する黒人コミュニティと住宅をめぐる闘争-20 世紀中葉のシカゴの公民権運動-	貴堂 嘉之 中野 聡 町村 敬志 樋口 映美
吉川 美由紀	日本の労働判例に見られる「就業規則による労働条件不利益変更法理」の迷走- 雇用関係ルールに関する社会学的考察 -	倉田 良樹 西野 史子 林 大樹 福田 泰雄

小志戸前 宏茂	保護国期における愛国啓蒙運動と朝鮮地方社会	糟谷 憲一 坂元 ひろ子 佐藤 仁史 木村 元
小森 めぐみ	物語への移入が読者の態度に及ぼす説得的影響—物語の主題と中心的物事に対する態度変化の検討—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 三瓶 裕文
ミヤグマル・アリウントヤ	モンゴルにおける「支援型改革」と「教育借用」— 幼児教育における<子ども中心主義アプローチ>の実施を事例として —	関 啓子 児玉谷 史朗 中澤 篤史 多田 治
磯 直樹	ピエール・ブルデューにおける社会学的思考の生成	平子 友長 町村 敬志 中野 知律 多田 治
根本 雅也	原子爆弾による惨禍と苦しみの意味をめぐる制度と体験者—広島市行政・日本政府・社会運動・被爆者—	足羽 與志子 岡崎 彰 町村 敬志 濱谷 正晴
酒井（矢森）小映子	— 一九世紀前半の洋学と社会— 田原藩家老渡辺華山を事例に—	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 秋山 晋吾
李 惠珍	日本の外国人研修・技能実習制度の構造とその変容に関する社会学的研究— 韓国の外国人産業技術研修制度との比較を通じて—	倉田 良樹 町村 敬志 西野 史子 鈴木 江理子
森川 由美	教育専門職による拡張的学習活動— スコットランドのカリキュラム改革—	ジョナサン ルイス 中田 康彦 関 啓子 鈴木 直文
長谷部 弘道	技術者の行為主体性とその規範— 日本のエレクトロニクス企業における製品開発過程を事例として—	倉田 良樹 西野 史子 猪飼 周平 橘川 武郎
ウナル ビラル	THE LINGUISTIC BEHAVIOR OF TURKISH CHILDREN IN JAPAN: A SOCIOLINGUISTIC STUDY	中島 由美 森村 敏己 久保 哲司 林 徹
崔 ミンギョン	戦後日本の国際化と中南米地域の「日系人」— 在外日本人の重層性にみるナショナル・アイデンティティ—	小井土 彰宏 伊藤 るり 小林 多寿子 吉野 耕作

小野塚 和人	観光地ケアンスの生成と日本企業-イメージ戦略をめぐる政治過程と地域社会変動-	ジョナサン ルイス 町村 敬志 福富 満久 マイク モラスキー
--------	--	--

2012 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
青木 利夫	20世紀メキシコにおける農村教育の社会史-農村学校をめぐる国家と教師と共同体-	関 啓子 落合 一泰 木村 元
後藤 千織	20世紀初頭のアメリカにおける家族をめぐるポリティクス	貴堂 嘉之 中野 聡 坂元 ひろ子
松石 泰彦	企業城下町の形成と日本的経営	渡辺 尚志 石居 人也 高柳 友彦
猿渡 啓子	第1次大戦前におけるイギリスの海外ビジネス展開-英領マラヤのゴム栽培会社の事例	児玉谷 史朗 浅見 靖仁 福富 満久
遠藤 芳信	近代日本陸軍動員計画策定史研究-近代日本の戦争計画の成立-	吉田 裕 坂上 康博 石居 人也
木下 ちがや	アメリカにおける治安法制と国家の正統性-自由主義体制における正統性の確立と動揺	中野 聡 貴堂 嘉之 吉田 裕

2013 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
松本 礼子	18世紀後半パリのポリスと反王権的言動	森村 敏己 山崎 耕一 秋山 晋吾 阪西 紀子
ウンサーシュッツ ジャンカーラ	THE ROLE OF LANGUAGE IN MANGA: FROM THE POINT OF VIEW OF STRUCTURE, VOCABULARY AND CHARACTERS	中島 由美 森村 敏己 井川 ちとせ 山崎 誠
丸山 雄生	20世紀転換期アメリカの動物表象と自然の形成 -剥製・博物館・記念碑・映画-	貴堂 嘉之 中野 聡 森村 敏己 安川 一
三浦 綾希子	フィリピン系ニューカマー二世世代のエスニックアイデンティティと複層的ネットワーク-世代内部の差異に注目して-	関 啓子 中田 康彦 山田 哲也 伊藤 るり

清水 由希江	ウィリアム・ジェイムズ思想における自己の概念と自伝の倫理	中野 聡 大河内 泰樹 Claude Debru Jean-Charles Darmon
タキデ モハマッド	イランにおける列強支配と民主派抵抗の闘争史—第二次大戦期～冷戦期の石油国有化問題を中心に—	多田 治 吉田 裕 福富 満久 中野 聡
寺崎 陽子	自然の意味と制度—米国国立公園システムをめぐる価値の創造と組織の実践—	足羽 與志子 御代川 貴久夫 岡崎 彰 加藤 泰史
東 智美	資源管理政策が引き起こす資源の破壊—ラオスの土地・森林管理政策が焼畑民の土地利用に与えた影響—	浅見 靖仁 児玉谷 史朗 春日 直樹 佐藤 仁史
藤岡 伸明	日本の若者と雇用システムの国際化—オーストラリア・ワーキングホリデー制度利用者の事例研究—	渡辺 雅男 西野 史子 町村 敬志 小林 多寿子
小田 真裕	近世後期における地域指導者層の学問受容—宮負定雄を中心に—	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 池 亨
田戸岡 好香	ステレオタイプの抑制における代替思考方略の検討—ステレオタイプ内容モデルに注目して—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 西野 史子
金 知榮	グローバル時代における「ルーツ」意識の変化とエスニシティの再構築—1980年代以降における在日韓国・朝鮮人の経験を事例に—	町村 敬志 伊藤 るり 小林 多寿子 イ・ヨンスク
加藤 圭木	朝鮮東北部・咸鏡北道の社会変容—植民地期の港湾「開発」問題を中心に—	糟谷 憲一 石居 人也 佐藤 仁史 吉田 裕
平井 和子	日本占領を問い直す—ジェンダーと地域からの視点—	吉田 裕 佐藤 文香 中北 浩爾 貴堂 嘉之
古川 光明	国際援助システムの展開とアフリカ援助行政の実態：ポスト冷戦期における「貧困削減レジーム」を中心に	児玉谷 史朗 浅見 靖仁 ジョナサン・ルイス 福富 満久

バーナム ア ディナ	THE POSITION OF QUALITY ASSURANCE CONTRIBUTORS IN FREE/LIBRE OPEN SOURCE SOFTWARE COMMUNITIES	ジョナサン・ルイス 大坪 俊通 倉田 良樹 Sulayman K. Sowe
---------------	--	---

2013 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
三具 淳子	夫婦の権力関係変動のプロセス―「働くこと」をめぐる夫婦間相互行為に着目して―	木本 喜美子 小林 多寿子 山田 哲也 船橋 恵子
ヤマグチ アナ エリーザ	在日ブラジル人の移動形態および移住コミュニティが家族構成 変容に与える影響についての考察 ―分散型居住地と集住型居住 地の比較研究―	小井土 彰宏 町村 敬志 伊藤 るり

2014 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
高橋 幸裕	介護職の職務範囲と専門職性に関する研究―チームケアと多職 種連携からの考察を中心として―	林 大樹 渡辺 雅男 福田 泰雄 高田 一夫
鈴木 久美	在日朝鮮人の「帰還」に関する研究（1945-1946 年）	糟谷 憲一 佐藤 仁史 石居 人也 吉田 裕
志賀 信夫	貧困理論の再検討―イギリスの貧困理論の行き詰まりと社会的 排除論の意義―	大河内 泰樹 林 大樹 平子 友長 高田 一夫
坂下 雅一	複合ネーション「沖縄県民」の起源 ―戦後初期（1945-1956）沖 縄群島の政治界における「ナショナル・アイデンティティ」の生 成と展開―	小井土 彰宏 町村 敬志 伊藤 るり 吉野 耕作
金子 史弥	戦後イギリスの都市におけるスポーツ政策の変容―シェフィー ルド市の事例―	尾崎 正峰 坂 なつこ 鈴木 直文 町村 敬志
松下 奈美子	高度人材の国際移動に関する社会学的研究―クラスター化とリ ージョナル化―	倉田 良樹 西野 史子 太田 美幸 堂免 隆浩
夏目 琢史	近世における個人と社会との関係―遠州における地方寺院と神 職を中心として―	渡辺 尚志 若尾 政希 石居 人也 高柳 友彦

上田 裕子	日本のジェンダー平等政策と国際労働基準—間接差別禁止をめざす女性 NGO 活動を事例として—	林 大樹 佐藤 文香 関 啓子 福田 泰雄
野木 香里	朝鮮における婚姻の「慣習」と植民地支配—1908 年から 1923 年までを中心に—	糟谷 憲一 石居 人也 佐藤 仁史 吉田 裕
埴田 健司	反証事例が潜在的ステレオタイプ・偏見に及ぼす影響	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 柘植 道子
崔 誠姫	第二次朝鮮教育令施行期（1922 年～1938 年）における中等教育—高等普通学校及び女子高等普通学校を中心に—	糟谷 憲一 木村 元 佐藤 仁史 若尾 政希
松波 康男	終わりなき「悩み」—エチオピア・東シヨア及びアルシ地方にみられる参詣の共同性—	岡崎 彰 大杉 高司 春日 直樹 深澤 英隆
ヘイリー・マクラーレン	NEEDLING BETWEEN SOCIAL SKIN AND LIVED EXPERIENCE: AN ETHNOGRAPHIC STUDY OF TATTOOING IN DOWNTOWN TOKYO	岡崎 彰 大杉 高司 久保 明教 町村 敬志
田中 麻子	性暴力と被害者の属性—性風俗従事者に対する性暴力の不可視化—	宮地 尚子 小林 多寿子 安川 一 青山 薫
宇田川 幸大	東京裁判の史的研究—検察側・弁護側の裁判準備と審理過程に関する分析から—	吉田 裕 坂上 康博 中北 浩爾 石居 人也
橋本 栄莉	エ・クウォス—南スーダン、ヌエル社会における予言的出来事と拡張する想像力の民族誌—	岡崎 彰 大杉 高司 児玉谷 史朗 栗本 英世
鈴木 楓太	体育・スポーツの戦時編成とジェンダー	坂上 康博 木本 喜美子 吉田 裕 坂 なつこ
李 暁魁	社会転換と中国社会の構造変動—「新階層」の変動過程を中心に—	町村 敬志 石倉 雅男 木本 喜美子 佐藤 仁史

## 2014 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
梅屋 潔	ジュウオギ jwogi、ジャジュウオキ jajwok、ティポ tipo、そしてラム lam の観念 —ウガンダ東部パドラ Padhola における「災因論」の民族誌的研究—	岡崎 彰 春日 直樹 足羽 與志子

## 2015 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
中村 江里	往還する〈戦時〉と〈現在〉—日本帝国陸軍における「戦争神経症」—	吉田 裕 佐藤 文香 中北 浩爾 石居 人也
呉 永鎬	1950~60 年代における朝鮮学校教育史	木村 元 中田 康彦 吉田 裕 太田 美幸
上野 太祐	世阿弥伝書思想の研究	平子 友長 若尾 政希 深澤 英隆 中野 知律
望戸 愛果	〈策略〉としての「戦争の平凡化」の過程—1920 年代アメリカ在郷軍人会の西部戦線巡礼事業の事例から—	伊藤 るり 貴堂 嘉之 佐藤 文香 中野 聡
後藤 基行	日本における精神病床入院の研究—3 類型の制度形成と財政的変遷—	猪飼 周平 石居 人也 宮地 尚子 白瀬 由美香
山本 章子	米国の海外基地政策と安保改定	中野 聡 吉田 裕 貴堂 嘉之 秋山 晋吾
布川 あゆみ	教育をめぐる学校・家庭・学校外における関係性の組みかえ—ドイツにおける終日学校政策の展開と実践に着目して—	中田 康彦 山田 哲也 太田 美幸 多田 治
鈴木 直樹	近世関東の土豪と村落・地域社会	渡辺 尚志 若尾 政希 石居 人也 高柳 友彦
高瀬 久直	日米財界関係に関する政治社会学的研究 —ネオ・グラムシ派のアプローチを中心に—	町村 敬志 中北 浩爾 小井土 彰宏 加藤 哲郎



金 美珍	韓国における「周辺部」労働者の利害代表をめぐる政治—女性の「独自組織」の組織化と社会的連携を中心に—	木本 喜美子 田中 拓道 町村 敬志 横田 伸子
金 善美	「下町らしさ」のパラドックスを生きる—変貌する東京インナーシティのエスノグラフィー—	町村 敬志 小林 多寿子 堂免 隆浩 小浜 ふみ子
赤木 佳寿子	戦後日本における薬剤師職能の変容—医薬分業の発達史の観点から—	猪飼 周平 石居 人也 白瀬 由美香 宮本 法子
跡部 千慧	日教組婦人部産休代替法・育児休業法制定運動の考察—戦後日本における「男女平等の実現」をめぐる—	木本 喜美子 林 大樹 木村 元 佐藤 文香
井上 裕珠	資源分配における妬みの適応的機能—資源所有者の分配志向性と資源の分割容易性の影響—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 阿久津 聡
佐瀬 隆夫	第二次世界大戦におけるアメリカの象徴天皇利用政策（起源・展開・影響）—ラインバーガー博士とグルー元駐日大使を中心に—	中野 聡 貴堂 嘉之 吉田 裕 坂上 康博
岩間 敏	開戦決定と人造石油—何故、日本に人造石油工業は成立しなかったのか—	吉田 裕 中野 聡 中北 浩爾 佐藤 仁史
高間 沙織	戦後日本における病床偏重の高齢者処遇 —コミュニティケア発展の困難の観点から—	猪飼 周平 堂免 隆浩 白瀬 由美香 中澤 篤史

2015 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
笹生 心太	日本におけるスポーツ施設産業の展開に関する社会学的研究 — 1960 年代半ばから 70 年代初頭のボウリング場産業に着目して—	尾崎 正峰 坂 なつこ 堂免 隆浩
樋口 直人	日本型排外主義—在特会・外国人参政権・東アジア地政学	町村 敬志 伊藤 るり 田中 拓道
小谷 英生	ドイツ通俗哲学の理念とカント批判哲学の誕生 —〈健全な理性〉＝コモンセンス概念をめぐる 1754-65 年の言説研究—	平子 友長 加藤 泰史 大河内 泰樹

田口 陽子	市民社会と政治社会の間：インド、ムンバイの市民をめぐる運動の人類学	大杉 高司 春日 直樹 久保 明教
佐藤 圭一	日本の気候変動政策過程 —三極構造から生み出される「自主行動」中心統治—	町村 敬志 田中 拓道 寺西 俊一
渡部 瑞希	観光市場におけるフレンドと詐欺師をめぐる人類学的考察 —カトマンズの観光市場、タメルにおける宝飾商売のフィールドから—	大杉 高司 春日 直樹 久保 明教
田中 研之輔	都市下位文化集団の相互行為に関する社会学的研究 —スケートボーダーの都市エスノグラフィー—	町村 敬志 小林 多寿子 中澤 篤史

2016 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
鈴木 航	日中戦争期、『東南日報』と地域社会	佐藤 仁史 加藤 圭木 吉田 裕 坂元 ひろ子
西 聡子	近世後期の四国遍路と民衆の信心	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 深澤 英隆
望月 良親	日本近世社会と町役人— 甲府町年寄坂田家の歴史的位—	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 高柳 友彦
松田 英里	近代日本の戦傷病者と戦争体験	吉田 裕 坂上 康博 石居 人也 木村 元
鈴木 淳世	近世後期北奥の豪農・豪商の思想形成	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 高柳 友彦
尹 賢明	帝国議会における臨時軍事費—大正期から日中戦争期までを中心—	吉田 裕 田中 拓道 木村 元 加藤 圭木
秋山 道宏	日本復帰前の沖縄における島ぐるみの運動の模索と限界—B52 撤去運動から尖閣列島の資源開発にいたる過程に着目して—	多田 治 児玉谷 史朗 吉田 裕 戸邊 秀明
丹羽 (安達) 宣子	<僧侶らしさ>と<女性らしさ>の宗教社会学—日蓮宗女性僧侶の事例から—	深澤 英隆 小林 多寿子 佐藤 文香 木本 喜美子

丹羽 充	信仰の共同体と不信の共同性—ネパールのプロテスタントイズムについての民族誌的研究—	大杉 高司 久保 明教 春日 直樹 井頭 昌彦
間 永次郎	M・K・ガンディーの「宗教政治」思想—セクシュアリティ認識の変容とナショナリズム運動の展開—	足羽 與志子 深澤 英隆 春日 直樹 井坂 理穂
沢辺 満智子	近代産業化過程の養蚕業における民俗的想像力—蚕を育てる技術・感覚・信仰—	足羽 與志子 春日 直樹 石居 人也 久保 明教
加藤 樹里	悲しみを伴った感動が強まるとき—有限の顕現化と社会的価値の見出しが及ぼす影響—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 樋口 匡貴
加藤 祐介	近代天皇制の再編—皇室の経済機構とその変容過程—	吉田 裕 中北 浩爾 坂上 康博 石居 人也
芹口 真結子	近世仏教教団の教学統制と教化活動—東本願寺を事例に—	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 引野 亨輔
津村 健太	どのような相手であれば被排斥経験後に再親和できるのか—非排斥者の社会不安および再親和相手の集団成員性と集団の類似性からの検討—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 井頭 昌彦
横山 智哉	民主主義の基盤としての政治的会話—政治的会話の測定、特性および社会的帰結—	稲葉 哲郎 村田 光二 安川 一 荒井 紀一郎

2016年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
森 啓輔	統治と挑戦の時空間に関する社会学的考察—戦後沖縄本島北部東海岸をめぐる軍事合理性、開発、社会運動—	町村 敬志 小林 多寿子 田仲 康博
小滝 陽	20世紀アメリカ合衆国の戦争と自立概念の変容	貴堂 嘉之 中野 聡 佐藤 文香
林 英一	インドネシア残留日本兵の社会史的研究 1942—2014	吉田 裕 中野 聡 坂上 康博

## 2017年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
小阪 裕城	戦後世界秩序のなかの「国際人権」、1945～1953年—「フォーラム」としての国連、「抗議のコトバ」としての人権—	中野 聡 貴堂 嘉之 秋山 晋吾 青野 利彦
牧 陽子	フランスの保育サービスと女性の就業—家族政策と親・ケア労働者の相互行為の視座から—	田中 拓道 伊藤 るり 白瀬 由美香 船橋 恵子
田口 ローレンス 吉孝	戦後日本における「混血」、「ハーフ」をめぐる人種構成—＜日本人化／外国人化＞人種プロジェクトの歴史的な展開—	伊藤 るり 小井土 彰宏 小林 多寿子 南川 文里
王 燕敏	承認と正義—アクセル・ホネットにおける承認論の社会的正義論への展開—	大河内 泰樹 加藤 泰史 田中 拓道 宮本 真也
インダ・サンティ・プラティディナ	THE ONLINE DISCOURSE OF ASEAN REGIONALISM: A USER AND CONTENT ANALYSIS OF INDONESIAN, ENGLISH AND JAPANESE TWEETS	ジョナサン・ルイス 赤嶺 淳 足羽 興志子 福富 満久
菅野 智博	近代満洲における農業労働力と農村社会	佐藤 仁史 加藤 圭木 洪 郁如 江夏 由樹
須田 佑介	ニクラス・ルーマンの社会システム理論における合理性の構想とそのメカニズム	多田 治 井頭 昌彦 深澤 英隆 菊谷 和宏
藤浪 海	犠牲者ディアスポラと労働ディアスポラの間で—横浜市鶴見区で邂逅するウチナンチュたち—	伊藤 るり 小井土 彰宏 町村 敬志 多田 治
李 宣定	日韓の歴史教科書問題に関する政治史的考察—1982、1986、2001年の事例から—	吉田 裕 木村 元 中北 浩爾 加藤 圭木
竹部 成崇	なぜ貧しい人ほど寄付をするのか—金銭的欠乏感の影響に着目した検討—	村田 光二 稲葉 哲郎 安川 一 竹内 幹
鈴木 愛	十八世紀における＜知＞の形成と展開—幕臣・成島道筑と在地の指導者の学問・思想の関係性—	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 友部 謙一

松永 伸太郎	アニメ作画スタジオにおける経済活動と空間的秩序—職場のモラル・エコノミーの社会学的研究—	西野 史子 倉田 良樹 堂免 隆浩 山田 哲也
富田 幸祐	日本スポーツ界と政治の関係に関する史的研究—1930年代および1960年代のアジアにおける国際スポーツ大会を対象として—	坂上 康博 中野 聡 石居 人也 尾崎 正峰
パブリー ボグダン	LANGUAGE CHOICE AND SOCIAL MEDIA IN UKRAINE	ジョナサン・ルイス 足羽 興志子 五十嵐 陽介 Milen Martchev
横山 陸	マックス・シェラーの感情の哲学のアクチュアリティ	大河内 泰樹 加藤 泰史 井頭 昌彦 音喜多 信博

2017年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
村上 志保	上海プロテスタントの宗教空間	足羽 興志子 深澤 英隆 佐藤 仁史
松浦 義弘	フランス革命とパリの民衆——「世論」から「革命政府」を問い直す	森村 敏己 秋山 晋吾 山崎 耕一
岩佐 卓也	現代ドイツの労働協約	吉田 裕 倉田 良樹 田中 拓道
横山（徳永） 晶子	琉球沖永良部島国頭方言の文法	五十嵐 陽介 森村 敏己 下地 理則
佐藤 雅哉	グローバル化するアラブ・イスラエル紛争と1970年代アメリカ——人道主義、平和、人権、フェミニズム	中野 聡 貴堂 嘉之 西崎 史子
淵田 仁	ジャン＝ジャック・ルソーにおける〈方法〉の問題	森村 敏己 加藤 泰史 小関 武史
木村（道家） 瑠見子	現状維持からの脱却：予期的後悔が現状維持傾向の低減に及ぼす影響	村田 光二 稲葉 哲郎 阿久津 聡
野本 禎司	近世後期旗本家の領主支配と家臣団の研究	渡辺 尚志 若尾 政希 友部 謙一
恵羅 さとみ	移動する職人・労働者と社会変動—産業リストラクチャリング下の日米建設労働者をめぐる比較社会学的分析	小井土 彰宏 町村 敬志 木本 喜美子

## 2018年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
三家本 里実	情報サービス産業における労働過程の編成とマネジメントに関する実証研究—労働者の労働過程への「関わり」と自律性に着目して—	西野 史子 倉田 良樹 白瀬 由美香 尾崎 正峰
ホセイン・ヌラニ	USING SOCIAL MEDIA TO MEASURE POLITICAL POLARIZATION; A TWITTER ANALYSIS OF DONALD TRUMP'S FIRST 40 DAYS IN OFFICE	ジョナサン・ルイス 中野 聡 赤嶺 淳 福富 満久
吉川 紗里矢	江戸幕府の役職就任と文書管理	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 友部 謙一
山崎 晶子	21世紀フランスのエリート形成における言語資本—名門グランゼコール学生・卒業生と親、準備学級教師の語りから—	小林 多寿子 菊谷 和宏 森 千香子 ジャン-パスカル・ダロズ エルヴェ・グルヴァレック
隅田 聡一郎	資本主義の政治的形態—マルクスの唯物論的国家論—	大河内 泰樹 菊谷 和宏 平子 友長 明石 英人
今野 晴貴	2000年代における製造業派遣・請負労働の労使関係—雇用類型と紛争の様態に着目して—	西野 史子 倉田 良樹 猪飼 周平 福田 泰雄
本間 まり子	論文要旨論文題目：開発事業をめぐる女性のジェンダーニーズの捉え方—バングラデシュのマイクロファイナンス事業の分析に基づく再考—	児玉谷 史朗 上田 元 町村 敬志 田中 由美子
工藤 晴子	アメリカにおける難民の保護とセクシュアリティ—性的マイノリティの難民と庇護希望者の包摂と排除—	小井土 彰宏 小林 多寿子 森 千香子 伊藤 るり
荒井 悠介	渋谷ギャル・ギャル男サークルのエスノグラフィー—社会的成功のための勤勉さと悪徳資本—	多田 治 安川 一 深澤 英隆 毛利 嘉孝
高木 駿	『判断力批判』における「醜さの美学」—美しさの裏面にある醜さ—	加藤 泰史 久保 哲司 中山 徹 平山 敬二

長島 祐基	戦後社会運動における民主主義と公共性—1950年代大衆集会の考察—	町村 敬志 石居 人也 菊谷 和宏 多田 治
河村 裕樹	精神医療実践の社会学的記述—エスノメソドロジーからのアプローチ—	小林 多寿子 町村 敬志 安川 一 前田 泰樹
原田 玄機	戦後日本における知的障害者処遇	猪飼 周平 堂免 隆浩 白瀬 由美香 小澤 温

#### 2018年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
田中 知恵	ネガティブ感情を生起させる説得的メッセージはどのようにして精緻化されるのか—感情改善の役割とその克服—	村田 光二 稲葉 哲郎 唐沢 かおり
太田 和宏	貧困の社会構造分析 なぜフィリピンは貧困を克服できないのか	児玉谷 史朗 上田 元 浅見 靖仁
西 菜穂子	空の区別 —中観派哲学と区別のシステム理論—	菊谷 和宏 平子 友長 岩佐 茂
深海 菊絵	性愛と倫理をめぐる人類学的考察	春日 直樹 安川 一 久保 明教

#### 2019年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
伴野 文亮	近代天皇制国家における「偉人」顕彰の歴史的意味の研究—金原明善の「偉人」化と天皇制イデオロギーの関連をめぐって—	若尾 政希 石居 人也 渡辺 尚志 高柳 友彦
張 暁棟	「いいね」から一票へ?—東アジアにおけるソーシャルメディアの政治的運用に関する研究—	ジョナサン・ルイス 福富 満久 赤嶺 淳 大坪 俊通
松浦 加奈子	発達障害の社会学 —特別な配慮実践からみる学級内部の秩序と能力—	山田 哲也 小林 多寿子 中田 康彦 太田 美幸

渡邊 頼陽	ピーター・L・バーガーの宗教論-聖なる天蓋としての宗教のゆくえ-	深澤 英隆 町村 敬志 多田 治 山中 弘
萩田 翔太郎	暴動の文化史—18世紀ロンドンの論争、風刺、ジャーナリズムから—	森村 敏己 秋山 晋吾 井川 ちとせ 坂下 史
荒沢 千賀子	1945年マニラ戦スペイン総領事館襲撃事件を生きのびて—6歳スペイン少女のライフストーリー—	宮地 尚子 中野 聡 赤嶺 淳 貴堂 嘉之
上林 朋広	ズルー・ナショナリズムと人種隔離政策—創られた「伝統」の変容・浸透・放棄の過程—	貴堂 嘉之 児玉谷 史朗 中野 聡 上田 元
坪光 生雄	受肉と交わり—チャールズ・テイラーの宗教論—	深澤 英隆 菊谷 和宏 平子 友長 伊達 聖伸
菅原 一	近世中後期の百姓の土地所持意識と村落共同体の変容	渡辺 尚志 若尾 政希 石居 人也 高柳 友彦
魏 偉	自然再生はいかにして可能か—自然倫理学における自然性の概念を手掛かりに—	加藤 泰史 大瀧 友理奈 若尾 政希 山内 廣隆
李 英美	冷戦期東アジア情勢の変動と戦後日本の出入国管理—境界管理のはざま—	中野 聡 石居 人也 貴堂 嘉之 加藤 圭木
大島 岳	HIVとともに生きる—傷つきとレジリエンスのライフヒストリー—	小林 多寿子 町村 敬志 太田 美幸 好井 裕明
菰田 レエ也	コミュニティ再構築の観点からみた社会的排除問題に取り組む労働統合型社会的企業(WISE)—サード・セクターの実践からうかびあがる二重の協同性という条件—	町村 敬志 田中 拓道 白瀬 由美香 多田 治
洪 昌極	植民地期朝鮮における土地改良事業と農村	加藤 圭木 高柳 友彦 吉田 裕 佐藤 仁史



高田 雅士	戦後日本の地域文化運動と人びとの意識—国民的歴史学運動の再検討—	石居 人也 吉田 裕 渡辺 尚志 若尾 政希
崔 仁鐵	韓国政府樹立後の反共活動と国民保導連盟	加藤 圭木 吉田 裕 佐藤 仁史 石居 人也

2019 年度 論文博士

氏名	タイトル	審査員
鈴木 美貴	自己決定の尊重に基づく公私協働の地域組織化に関する考察	林 大樹 中田 康彦 高田 一夫
鄭 景文	高齢者雇用政策における労働市場のメカニズムに関する研究	林 大樹 町村 敬志 石倉 雅男

2020 年度 課程博士

氏名	タイトル	審査員
飯尾 真貴子	米国移民管理レジーム下でのトランスナショナルな社会空間の再編—メキシコ村落出身移民の包摂と排除をめぐる「道徳的秩序」に着目して—	小井土 彰宏 貴堂 嘉之 伊藤 るり 森 千香子
朝倉 隆道	民営化する教育協力の公正性 —日本の民間企業・団体による教育輸出の正当化と知の統治体制の形成—	太田 美幸 上田 元 赤嶺 淳 児玉谷 史朗
井上 直子	婦選獲得同盟による地域の婦選運動 —支部運動の変遷と誌友会の形成をめぐる—	坂上 康博 石居 人也 佐藤 文香 吉田 裕
加藤 旭人	障害者と健常者の関係形成に関する社会学的考察 —東京都多摩地域における障害をめぐる教育、福祉、地域社会の再編成—	町村 敬志 小林 多寿子 白瀬 由美香 中田 康彦
金 誠明	解放後の法的地位をめぐる在日朝鮮人運動	加藤 圭木 中野 聡 佐藤 仁史 石居 人也
黒岩 漢	焼跡世界と政治的なもの —第二次世界大戦直後の日本列島諸都市を対象とする社会史的考察—	貴堂 嘉之 中野 聡 石居 人也 吉田 裕

古畑 侑亮	日本の19世紀における「好古家」の蒐集活動と歴史意識 —武蔵国の在村医小室元長を中心に—	若尾 政希 渡辺 尚志 石居 人也 高柳 友彦
山邊 聖士	行政による生活困難支援の限界 —現場レベルにおける支援をめぐる規範と意思決定の社会学的分析—	猪飼 周平 白瀬 由美香 田中 拓道 辻 琢也